

□■レポート作成講座 6号 2020□■

8月は、オンデマンド授業視聴期間および実習必要者についてはオンラインによる実習指導の期間となります。インターネットを使うことに慣れていない方もいらっしゃるかもしれませんが、養成所としても初めての取り組みです。皆さまのご協力のもとに、しっかりと進めていきたいと思っております。共に歩んでいきましょう。

レポート作成講座は今回で終了します。今回の■Plus Columnは“特別講座”として「国家試験における時事問題」について解説し、○×クイズでは「パンデミック」を取り上げます。どちらも1、2年生共通の内容ですので、最後までご覧ください。

【国試対策○×クイズ】

パンデミックとは、感染症が世界規模で流行することを意味し、WHOは感染症の警戒レベルを6つの段階(フェーズ)に分けて各国に対策の目安を示している。

答えと解説は最後に記載してあります。

■Plus Column

【特別講座… 時事問題とは？】

国家試験の問題は、試験前年の秋までに作られるそうです。1年生の場合、現在、起こっていることが1年半後の「時事問題」になります。今から、世界の動きにアンテナを張っておきましょう。2年生にとっては、これから起こる出来事ではなく、半年から1、2年前のことが「時事問題」の材料となります。もし統計値が出題されるとしても、速報値ではなく誤差などの修正を加えた後の「確定値」が出題されますから、これから発表される数値を追いかける必要はありません。そもそも、福祉に関する統計には膨大な種類と数があり、全てを覚えるには無理があります。仮に覚え込んだとしても、それがすぐに現場の役に立つとも思えません。

細かい数値よりも、大きな流れの中での「近年の傾向」を把握するような学び方をお勧めします。視野を大きく広げて、何をめざし、どんな社会をつくっていくのかを考え、世界の動きに敏感になることが「試験対策」となっていきます。未来への希望を胸に、志を高く持って、試験勉強に取り組みしましょう。

【国試対策○×クイズ】では「時事関連事項」を取り上げてきましたが、内容はごく初歩的なものです。国家試験は○×式はありませんし、これだけで合格できるほど甘いものではありません。2年生の皆さんは覚悟を決めて、各自、試験準備を開始してください。

秋からは過去問題を中心にしながら、さらに福祉問題について考えていけるような「受験対策ミニ講座」を開講します。

※養成所からの連絡事項などは随時、配信されます。定期的なチェックを忘れずをお願いします。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【国試対策○×クイズ：答えと解説】

【答え】○

パンは「全て」、デミアは「人々」を意味するギリシャ語で、WHOは、感染症の世界的流行を「パンデミック pandemic」と呼んでいます。2002年〜2003年の新型肺炎SARSは感染地域が限定的だったため、パンデミックとはされませんでした。2009年の新型インフルエンザ、そして今回の新型コロナウイルスはパンデミックとされ、WHOは各国に感染予防対策を要請しています。

歴史的には14世紀ヨーロッパのペスト、19世紀のコレラ、第一次世界大戦で兵士の間に流行したスペイン風邪などがあり、パンデミックは決して新しい現象ではないことがわかります。

ウイルスは人類の誕生前から地球上に存在していたと言われ、近代化とともに人口が密集する都市でウイルス感染症が深刻となり、さらに近年のグローバル化がパンデミックを加速させているのです。人類とウイルスとの闘いには長い歴史があり、歴史から学ぶことがたくさんありそうです。

(参考文献) 石弘之『感染症の歴史』角川ソフィア文庫 2018年/詫摩佳代『人類と病—国際政治から見る感染症と健康格差』中公新書 2020年

※その他、たくさんの方が出ています。この機会に是非見識を広げてください。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus